

行政視察報告 (総集編)

所属会派「清正会・柚」では行政視察報告書を毎回作成。関係各課及び市民の皆様との情報共有、議会での質問に活用しています。

東京都渋谷区 景観行政について



渋谷区まちづくり条例を制定され、協働のまちづくりを推進。「わが町ルール」の登録制度をはじめ、地区ごとの特性を活かした景観形成を目指しておられました。

渋谷センター商店街振興組合 パトロール隊の活動について



違法広告物は直ちに撤去。渋谷警察署と連携され、自分たちの街を自分たちでしっかり守っておられました。

横須賀市 中核市移行に伴う屋外広告物行政について



「広告景観推進協力員制度」を導入により、簡易除却の対象となる広告物は激減。所有権に関するトラブルもないとのことでした。

鳥取県米子市 鳥取県西部沖地震について



地震発生前に関係機関と実施した「図上訓練」が有効に機能。有事の心構えを平時から持ち続ける事が必要です。

鳥取県倉吉市 まちづくり会社「赤瓦」について



地域再生の要は「風土の具現化」であると再認識。歴史ある建物を積極的に活用し、賑わいを創出されていました。

島根県松江市 宍道湖周辺の景観保全について



景観の保全が地域の活性化に繋がっていました。眺望点の整備は国際観光都市に相応しいもので、沈む夕日に多くの方が感動されていました。

高知県 高知県庁 地震条例・庁舎の耐震改修について



県民の生命・財産を守るための地震条例。南海地震は必ずおきると想定され、庁舎の耐震改修を計画されていました。

高知県高知市役所 景観出前授業について



小・中学生が景観の良いところ、悪いところといった視点でまちを歩き、「まちなみ景観計画」を策定。地元大学の協力のもと、より実践的な景観学習を実施されていました。

茨城県 高萩市役所 工業団地への企業誘致について



需要に見合った価格設定はもちろんの事、明確な企業誘致の方針が必要だと感じました。

三重県伊賀市役所 議会基本条例について



二元代表制を強く意識した議会運営がなされており、大津市議会も見習うべき点が多々あると感じました。

和歌山県高野町 「コンパクトシティ」のまちづくりに関する視察



「コンパクトシティ」の基本は居住にあり、多様性をいかにして取り戻すかがポイントであると学びました。

和歌山県和歌山市 包括外部監査に関する視察



監査委員監査とは違った視点で指摘事項・意見等を出されており、行財政改革に繋がるものと感じました。

大津・まもり隊

ご挨拶



市議会は市長と緊張ある関係を保ち、独立・対等の立場において市政運営についての監視・評価を行うとともに、政策立案及び政策提言を行なっていかねばなりません。

大津市民の代表として選ばれている議員は、それぞれが市民の負託にこたえる責務を負っており、当選直後、会派・清正(しんせい)会を立ち上げたのは、先例やしがらみに捉われず、是々非々で物事を判断しなければ職責を果たせないと考えたからです。

厳しい財政状況が続くなか、社会活力を維持していくためには、形骸化した仕組みによって事業実施の優先順位が決定される時代を終わらせなければならず、開始当初の意義や目的が失われた事業の見直しをこれからも徹底して行なっていく必要があります。

私は「7つの視点」で一般質問を行っており、市政報告会では、この点を重点的にお話しさせていただきたいと考えております。ぜひともご参加くださいます様、よろしくお願い申し上げます。

谷 祐治

市政報告会(大津・安全まもり隊)

琵琶湖西岸断層帯の長期評価が一部改定され、今後30年以内の地震発生確率と地震の規模に変更がありました。南部については「ほぼ0%」とされましたが、決して安心できる数値ではなく、あらためて防災に対する意識を高めるための「大津・安全まもり隊」を谷議員の市政報告と併せて開催します。(どなた様でもご参加頂けます。)

日時 平成21年12月12日(土)
14:00~16:00

場所 大津ふれあいプラザ 中会議室
明日都浜大津5階
大津市浜大津四丁目1番1号



谷ゆうじプロフィール

議会人事

大津市議会 施設常任委員会 委員
同 競輪事業調査特別委員会 委員
大津市都市計画審議会 委員

所属

谷祐治 まちなみデザイン研究所
社団法人 大津青年会議所
社団法人 日本建築家協会
社団法人 滋賀県建築士会
NPO法人 滋賀県健康福祉会
NPO法人 浜大津観光協会
大津商工会議所 青年部

経歴

1973年11月 大津市に生まれる。
大津市立志賀小学校、
大津市立唐崎中学校、
滋賀県立石山高等学校卒
1996年 近畿大学理工学部建築学科卒業

資格

一級建築士・測量士

学会

日本景観学会
日本災害復興学会



谷ゆうじ後援会 事務所

〒520-0026 大津市桜野町二丁目1-21 メゾンみづほ103号
TEL.077-524-6164 FAX.077-524-6165
ホームページ <http://www.taniyuji.jp/>
E-mail matinami@taniyuji.jp

連日更新中!

ホームページを
ご覧ください

谷ゆうじ

検索

後援会にご入会ください。
コチラからお申し込み
いただけます。



谷ゆうじ これまでの取り組み

(7つの視点から) ()内は一般質問を行った市議会定例会を示す。

1. 健全で持続可能な行財政運営

- 大津市行政改革プランの推進について(19年度12月)
- 施策評価における事業仕分けの位置づけについて(20年度9月)
- ケアセンターおおつの健全化について(20年度9月)
- 不祥事の再発防止について(20年度9月)
- 行財政マネジメントシステムの構築について(20年度2月)
- 競輪事業を廃止した場合の影響について(20年度2月)
- 外郭団体のあり方について(21年度9月)
- 公有地管理のあり方について(21年度9月)

トピックス

競輪事業については、収支改善計画による歳入の削減が見込まれるも、景気の低迷・ファン層の高齢化などから、恒常的な歳入の増加は極めて厳しいと考えます。現在、2年続けて競輪事業調査特別委員会に所属し、事業廃止に要する費用の算出を含め、あらゆる角度から調査・研究を行なっています。

(関係質問)



大津市土地開発公社が保有する土地の中には、行政目的が存在しなくなったもの、すなわち、大津市として「買取る理由のなくなった土地」があり、塩漬け土地の利活用が喫緊の課題となっています。(関係質問)

2. 防災・減災力の向上

- 防災対策について(19年度12月)
- 庁舎のあり方について(19年度2月)
- 災害時要援護者支援について(20年度6月)
- 新型インフルエンザ対策について(20年度9月)
- 庁舎本館棟の耐震化について(20年度12月)

トピックス

来庁者や職員の生存空間を確保するため、庁舎本館棟における応急的な耐震補強を求めてきましたが、この夏、構造の専門家による技術的な検討がなされ、生存空間の確保に向けた取り組みに前進がみられました。(関係質問)



これまで暫定版となっていた「大津市インフルエンザ対策行動計画」がこの9月に策定をされました。現在、すでに感染は拡大しており、危機管理対策事業として対応がなされています。(関係質問)

3. 健康で安心してらせる社会

- 認知症サポーターの育成について(19年度2月)
- 介護予防事業について(20年度2月)
- 化学物質過敏症対策の推進について(21年度6月)

トピックス

大津市では、市内で活動する概ね60歳以上の方で構成されるグループを対象に、椅子に座って行なう介護予防の基本体操「おおつ光ルくん体操」の出張指導を行なっています。詳しくは健康保険部健康長寿課まで。(関係質問)



現在、大津市においては、化学物質過敏症を発症している人やその家族の方々の疑問や不安にお答えする相談窓口がありませんが、保健所内に設置される方向で検討が進められています。(関係質問)

4. まちの賑わい・市民交流の創出

- 中心市街地活性化について(19年度12月)
- おおつSNSについて(20年度6月)
- 国際交流のあり方について(20年度6月)
- 大津市のホームページについて(20年度9月)
- 文化交流と国際交流について(20年度2月)
- 近代化産業遺産を活用した観光交流の創出について(21年度6月)

トピックス

本年度予算の中で計上された「新姉妹友好都市調査経費」については、現時点で調査の必要性が認められないため、私を含む5人の議員で大津市議会初となる修正予算案を提案しました。採決の結果、否決こそされましたが、続く5月臨時会において、姉妹都市または友好都市の提携または解消については、議会の承認が必要となりました。なぜ、ロシア・エカテリンブルグ市が候補地となったのか、今も議論がなされています。



(関係質問)
経済産業省が地域活性化に役立つとして発表した「近代化産業遺産群 続33」において選ばれた旧達坂山トンネル(東口)は、来訪者が自由に近づける状態になっておらず、今後、新たな観光資源として活用されることが期待されます。(関係質問)

5. 市政運営の透明性向上

- 債務負担行為について(20年度9月)
- 市営葬儀に係る各種物品の準備について(20年度12月)
- 最低制限価格の事後公表について(20年度2月)
- 予算編成過程の公開について(21年度6月)

トピックス

土地開発公社から用地を買い戻す際の限度額と期間が債務負担行為として予算措置されるようになり、将来負担に対する議会のチェック機能が大幅に強まりました。昨年度までは、用地を買い戻す時点まで議会の承認は不要でした。(関係質問)



本年度から入札に係るすべての建設工事において、最低制限価格の事後公表が実施されるようになりました。請負に係る契約を審議する際、最低制限価格以下で失格となった金額に間違いはなかったのか、答弁に頼らずチェックできるように、入札及び契約過程に係る透明性が向上しました。(関係質問)

6. 湖都に相応しいまちなみ

- 景観行政と総合設計制度のあり方について(19年度6月)
- 公共空間、特に道路上に多く見受けられる違法屋外広告物の簡易除却作業について(19年度6月)
- 商業系用途地域を含めた市街化区域における高さ規制のあり方について(19年度9月)新聞記事
- 土地利用について(19年度9月)
- 地区計画について(19年度9月)
- 高さ規制のあり方について(19年度12月)
- 古都にふさわしい景観について(19年度2月)
- 屋外広告物の顕彰制度について(20年度12月)

トピックス

中核市移行により、屋外広告物行政の権限が県から移管されたことを契機に、ボランティア団体「大津まちなかスッキリ土隊」が発足しました。市内に在住し、又は通勤・通学されている満20歳以上の方3名以上で構成する団体で、簡易除却に係る講習を受けて頂ければ、違反広告物の除却活動を行なっていただけます。(関係質問)



建築物の高さ規制のあり方や手法について考える「市街地の高度利用のあり方検討委員会」が設置され、懸案となっている湖岸部の高層マンション建設などに関し、専門的かつ技術的な議論が行なわれています。良好な景観・風景を保全・創出していくには、地域の特性に応じた規制・誘導が必要であり、市街化区域全域を対象とした高度地区の指定が待たれます。(関係質問)

7. 次世代を見据えた環境整備

- ターミナルごみ収集について(20年度6月)
- 無許可ベンチについて(20年度6月)
- 協働によるベンチの設置について(20年度9月)
- リサイクルプラザとリユースセンターについて(20年度12月)
- アダプトプログラムについて(20年度12月)
- 三者協働によるバス停のベンチ設置について(21年度6月)

トピックス

駅前にごみが散乱するのを防ぐ目的で設置されてきた回収容器でしたが、家庭から出されるゴミや商品を購入した先で捨てられるべきゴミが多数持ち込まれ、溢れたゴミが散乱するという事例が続発していました。また、「ターミナルごみ収集事業」と称されながら、駅前とは関係のない場所にも回収容器が設置され、事業実施に年間約2千万円を必要としてきました。検討の結果、昨年度末に事業は終了し、回収容器も撤去されました。(関係質問)



公道上に無許可で設置されている広告目的のベンチ。街の景観を阻害しているだけでなく、幅の狭い道路に設置された場合には通行の妨げとなり、老朽化から使用に危険が伴うものも少なくありません。現在、国・県などの関係機関、バス会社、地域住民と連携してベンチを適正に設置することができないか、大津市において検討が進められています。(関係質問)